

一 般 質 問

平成24年 6月19日 (火)

13番 伊 関 史 子 議 員

1. 自治基本条例について

- ①自治基本条例の検証について
- ②市民への情報提供と市広報の配布方法について
- ③市民との協働の推進について

2. 環境

- ①2012年度を目標年としている石狩市第2期ごみ減量化計画の達成状況について
- ②石狩市一般廃棄物処理基本計画にある、ごみ減量の取り組み課題への対応について
- ③生ごみの堆肥化の実施について
- ④ごみ減量に対する市民との協働について

3. 健康遊具について

- ①体力維持や増進のためのものであるなら設置場所を考えるべき。また今後他の公園に設置する考えがあるのか
- ②既存の遊具を長期間使用するためには管理方法が必要と考えるが公園管理者をしている指定管理者への管理に対する指導について

4. 放射線測定器について

- ①市独自で放射線測定器を購入して貸し出しする考えはないか
- ②市独自で定点測定する考えはないか

5. 校務支援システムについて

- ①試験運用に際し保護者に対する説明が行われなかったのはなぜか
- ②今年度のシステムを導入した2校の保護者への説明が行われたのか
- ③委託期間が1年間となっていますが1年でやめた場合のデータの扱いはどうなるのか
- ④一括管理されたデータの保存期間とその問題点について

18番 大 平 修 二 議 員

1. 水道料金について

- ①今後、予想される水道料金について伺う。

2. 電力不足問題について

①本市における、節電対策について伺う。

3. 火力発電所について

①火力発電所建設における地元企業の参入等、本市への経済効果について伺う。

4. 生活保護について

①市の職員一人が担当する人数について伺う。

②生活保護受給者数と受給金額の推移状況と今後の対策について伺う。

5. 地域伝統文化について

①厚田区、浜益区の伝統文化継承について伺う。

6. 市内中学校の修学旅行について

①近年の修学旅行先と時期や日数について伺う。

2 番 上 村 賢 議員

1. 津波避難ビルについて

①沿岸地域には中高層建築物が少なく、津波避難ビルの確保が出来ない自治体も見受けられる。石狩市においても沿岸部には、中高層建築物が少なく、今後の防災計画策定にあたり、避難ビルの確保が厳しいと思われる。5月に行われた、本町地区の議員報告会でも、津波避難ビルの整備についてご意見があった。そこで昨年(2019年)の第2回定例会において、津波避難ビルについての質問を致しましたが、答弁で「特に本町地区につきましては、大津波が来た場合に、非常に避難場所が限られるというようなことから、地区町内会の方々と早急に打ち合わせなどについて行う」との事でしたが、その後打ち合わせを行ったのか。また、その内容について伺う。

②今後、避難ビルの整備(地域住民・観光客の避難に対して)については、どのような考えを持っているのか伺う。

2. サービス付き高齢者向け住宅登録事業について

①本年4月28日に「高齢者の居住の安定確保に関する法律」が改正され、これまでの、「高齢者円滑入居賃貸住宅(高円賃)」「高齢者専用賃貸住宅(高専賃)」等の制度が廃止となり、新たに「サービス付き高齢者向け住宅事業」の登録制度が開始されました。そこでまず、前制度との相違点を伺う。

②石狩市において、前制度に登録を行っていた事業者はどのようになったのか。そして、新制度に登録を済ませている事業者数及び建築数、部屋数など把握しているか伺う。

③新制度の利用にあたり、家賃・生活支援サービスの部分が利用者の基本負担になる事と思われる。前制度と比較をして利用者の負担率がどのようになったのか伺う。

3. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の提供開始時期について

- ①重度者を始めとした要介護高齢者の在宅生活を支えるため、日中・夜間、いわゆる24時間を通じて、訪問介護と訪問看護を一体的に又はそれぞれが密接に連携しながら、定期巡回訪問と随時の対応を行う「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」がこの4月に創設されました。石狩市はこの制度の提供開始時期はいつになるのか。また、開始に向けて事業者の公募・選考などが行われることになると思うが、計画はどの様になっているのか伺う。
- ②この制度は、一つの事業所で訪問介護・看護のサービスを一体的に提供する介護・看護一体型と訪問介護を行う事業所が地域の訪問看護事業所と連携をしてサービスを提供する介護・看護連携型の2種類から選択を致し、サービスの提供を行う事が出来るが、石狩市では両タイプともに開設が可能になるのか。また、開始時には厚田・浜益両区においても、希望する利用者が格差なく、サービスの利用を受ける事が出来るのか伺う。

4. 電力不足について

- ①猛暑であった2010年度の需要実績との比較で、2012年が2010年度並みの猛暑となった場合、8月に1.9%の電力が不足する可能性が示されている。北電は道内の企業や家庭に2年前と比べ7%以上の節電を求められているが、石狩市としては電力不足に対して、どのように認識をしているのか。また、電力不足に対する対応について、具体的にお示しをしてください。
- ②計画停電が実施された場合、災害時や医療機関、さらには、自宅で人工呼吸器などの生命維持装置を持つ家庭などの、把握や対応についてどのように考えているのか伺う。
- ③道内の電力需要は夏季にピークを迎える本州と違い、暖房需要が高まる冬季がピーク。2011年1月12日には最大電力が過去最高の578万8千キロワットを記録した。そのことから、原発の再稼働あるいはそれに見合う電力の確保が出来ない限り、再び冬期間にこのような課題が発生する事と思えるが、今後の電力対策についてどのように考えているのか伺う。

1 番 阿 部 裕 美 子 議 員

1. 石狩市の悪臭対策について

- ①市内の堆肥臭の対策について、環境浄化微生物等を使用して、ニオイ対策を推進してはどうか

2. 「介護マーク」の導入について

- ①認知症の方を介護している方が、誤解や偏見を持たれないよう「介護マーク」を導入すべきではないか

3. 福祉避難所について

- ①民間の福祉施設との提携について
- ②指定避難場所において、体育館など多人数の中では対応出来ない方々の対応について

4. 市民への見守りについて

- ①高齢者を居宅介護している家庭、ひきこもりの方がいる家庭、障がい者、障がい児のいる家庭など、相談や支援を上手く受けられていない方々に対し、必要な援助が出来るよう、地域の民生委員の方々と連携するなどし、家庭訪問をしていく体制を整えていくべきではないか

12番 蜂谷三雄 議員

1. 水道料金値上げ問題について

- ①20.5%の大幅値上げ計画が示されているが、現在も札幌市より高い料金となっており、値上げすれば全道トップクラスの高料金となる。市民の暮らしは大変厳しい実態で、現行料金維持に努められたい。
 - イ. 石狩西部広域水道企業団からの供給単価が当初計画より高くなったことが料金値上げの主要な要因である。先に示された単価決定経過を詳細に伺う。
 - ロ. 構成母体が全て当初計画通りの受水を行った場合、石狩市の計画水量と実際の受水量比で計算すれば供給単価はどの程度になるのか。
 - ハ. 条例提案は9月定例会と聞いているが、供給単価の引き下げに全力をあげられたい。
- 二. 石狩市街の配水管の老朽化等更新事業は耐震化国庫補助や有利な起債の活用など資本費の抑制をはかる対策を。
 - ホ. 高料金対策の交付税措置に上乗せした繰り入れにより料金対策を行うことを求めたい。
 - ヘ. 低所得者や福祉施設への減免制度の基準を設ける考えはないか。
- ②浜益、厚田の住民は直接受益がない地域として料金据え置きをすべきと考えるがいかがか。

2. 公的住宅対策について

- ①UR住宅花川中央団地の集約・再編に向けた具体的な動きに対する市の対応について。準公的住宅としてどう位置づけ対応するか。
- ②空き屋になっている職員住宅を住民に活用させるための制度整備をすべき。
- ③入居している職員住宅の必要な補修・修繕が適切に行われているか。

3. 災害復旧工事のあり方について

- ①災害復旧工事について国の対応は現状に即して工法などの改良的要素も重視するように変化している。浜益逆川の工事について住民意見もありどのように検証しているか。

4. 石狩湾新港企業に対する新たな優遇策について

- ①石狩湾新港進出企業への新たな追加優遇制度が提案されたが、政策効果の検証とメディア発表を先行させた対応について伺う。

5. 市職員退職者の再就職について

- ①以前の議会でも提起させていただいたが、市の関連団体への再就職ガイドラインについて伺う。